

科目	地域理学療法学	担当	山田 和政	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

本科目では、障害を持つ人々が地域で自立した生活を送るためのリハビリテーションを理学療法士の視点から学ぶ。福祉関連法的諸制度、関連機関との地域連携、社会資源等を総合的に理解し、地域リハビリテーションにおける理学療法士の専門性と役割について学習する。また、ケアマネージャー(介護支援専門員)の業務を通して介護保険制度について理解し、リハビリテーションの視点に立った評価および利用者支援についても学ぶ。受講者は、医療機関のみならず通所・入所・訪問を含めた広い視点での理学療法を修得することができる。

**【履修注意】**

随時、講義の中で討論および発表の機会を設けるので、積極的かつ活発な意見交換を望む。

**【評価方法】**

期末試験(筆記)にて評価する。

**【試験について】**

中間試験は実施しない。

再試験対象者の条件: 期末試験が60点未満の者

**【予習・復習】**

講義毎の復習を十分に行ない、理解できなかった部分については、次の講義で積極的に質問すること。

**【教科書】**

書籍名: ビジュアルレクチャー 地域理学療法学 編者: 浅川育世 出版社: 医歯薬出版

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	はじめに	超高齢化社会、医療、保健、介護、理学療法士
2	地域リハビリテーションとは何か	定義、概念、地域包括ケアシステム、理学療法士の役割
3	医療保険と介護保険	社会的背景、医療保険と介護保険の違い
4	介護保険について調べてみよう	仕組み、対象、サービス内容
5	介護保険について調べてみよう	仕組み、対象、サービス内容
6	急性期・回復期リハビリテーション	急性期リハ(急性期病院)、回復期リハ(回復期リハ病棟・地域包括ケア病棟)、目的、役割
7	維持期リハビリテーションについて調べてみよう	維持期リハ(療養病棟・老健・訪問リハ)、入所サービス、通所サービス、訪問サービス、目的、役割
8	維持期リハビリテーションについて調べてみよう	維持期リハ(療養病棟・老健・訪問リハ)、入所サービス、通所サービス、訪問サービス、目的、役割
9	地域リハビリテーション関連用語と関連法規について調べてみよう	ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、協働と連携、障害者基本法、身体障害者福祉法、障害者総合支援法
10	地域リハビリテーション関連用語と関連法規について調べてみよう	ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、協働と連携、障害者基本法、身体障害者福祉法、障害者総合支援法
11	ケーススタディ	3症例についてグループディスカッションおよび発表
12	ケーススタディ	3症例についてグループディスカッションおよび発表
13	ゲストスピーカー	理学療法士による介護保険制度下での健康支援および介護予防の取り組み(仮)
14	ゲストスピーカー	理学療法士による介護保険制度下での健康支援および介護予防の取り組み(仮)
15	高齢者リハと環境整備	高齢者の特性、住宅構造、生活環境評価、住宅改修、福祉用具
16	期末試験	1～15コマの復習・確認・まとめ